

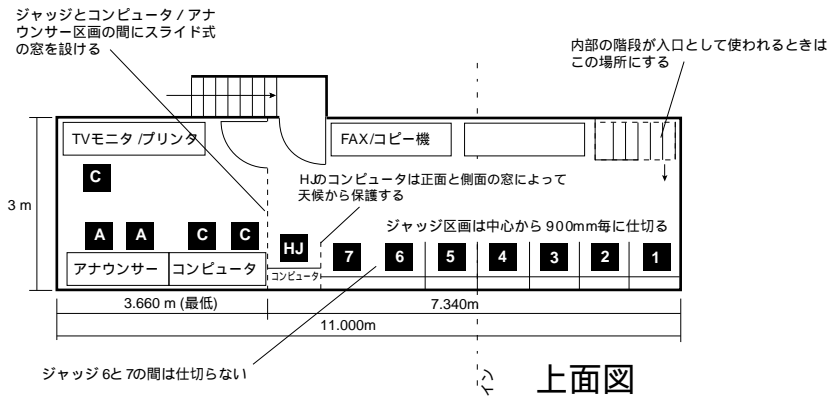
FIS アクロジャッジスタンドの仕様

コース下に設置するとき

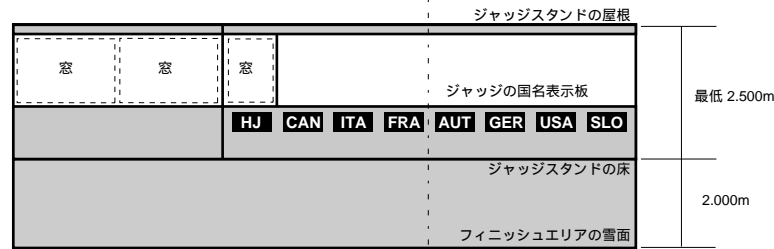
Revision 5/7/99 • FIS Judges Sub-committee • FIS Rules & Technical Sub-committee

説明書：

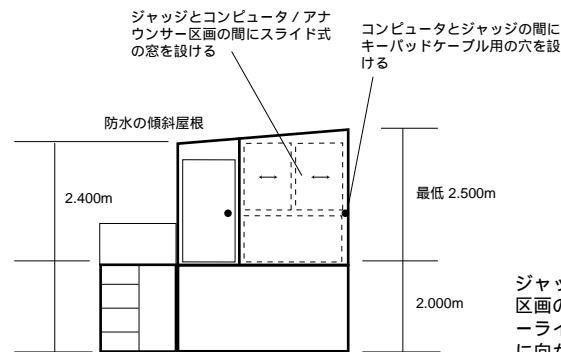
1. 常設が望ましい。
2. ワールドカップにおいてのスタンドの最小サイズは内でのりで11m x 3mのこと。
3. スタンドの配置は、全てのジャッジとアナウンサーがコースの全体を見渡すことができるように考慮すること。
4. 入口はスタンドの後側中央に階段を上ったところに作り、競技会中の出入りを制限するようにドアを設けること。スタンドの正面側の端から出入りしてはいけない。
5. ジャッジスタンド内は十分に暖められ、完全に囲われていること。
6. コンピューター / アナウンサー区画は暖められ、向い風、雪、雨から隔離されること。
7. スタンドには傾斜した防水屋根を付けること。
8. ジャッジ区画は4ページの詳細図に従って作ること。
9. コンピューター / アナウンサー区画の前と後ろには、安定した110ボルトまたは220ボルトの電源が供給されること。
10. スタンドの床は乾いていて、滑り止めがあり、障害物や穴の無いこと。
11. スタンドはジャッジからアナウンサーやスコアラーが視認できること。
12. ジャッジスタンドの近くに簡易型トイレを準備すること。



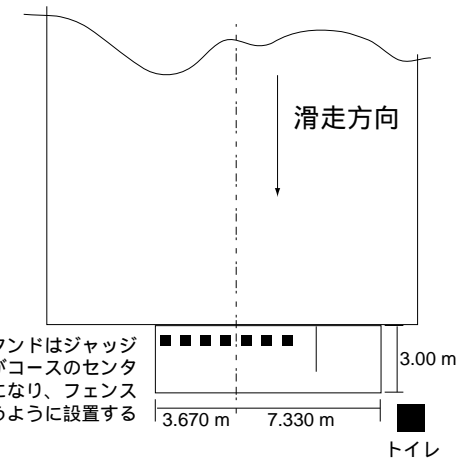
上面図



正面図



側面図



コース上の配置

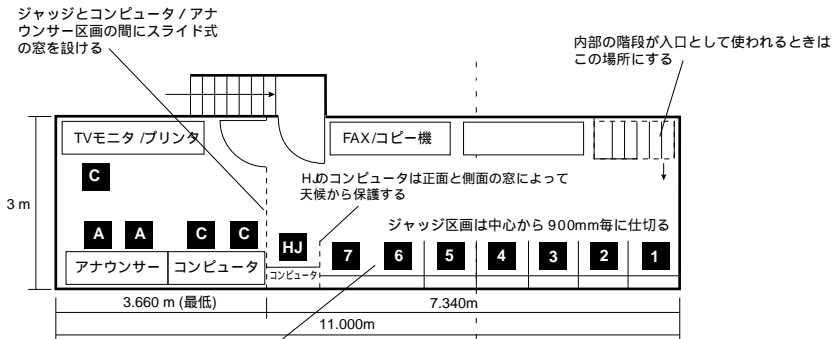
FIS アクロジャッジスタンドの仕様

コース下に設置するとき

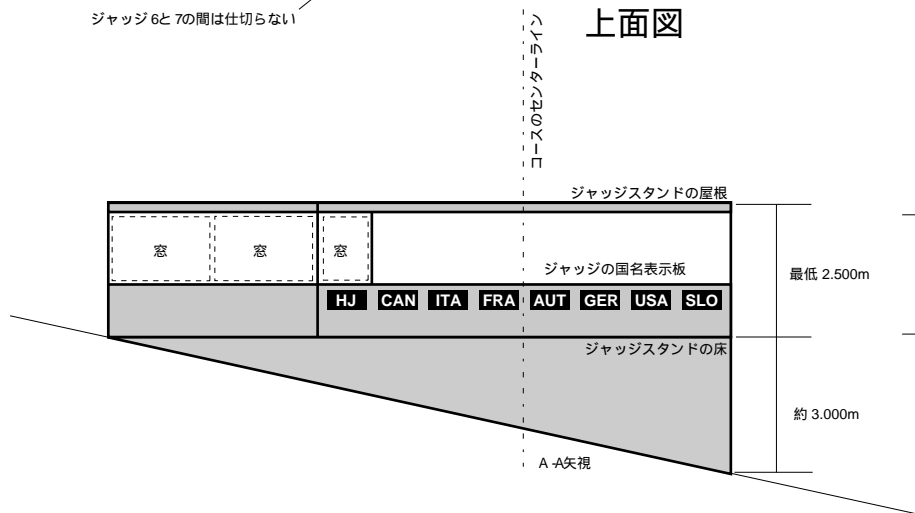
Revision 5/7/99 • FIS Judges Sub-committee • FIS Rules & Technical Sub-committee

説明書：

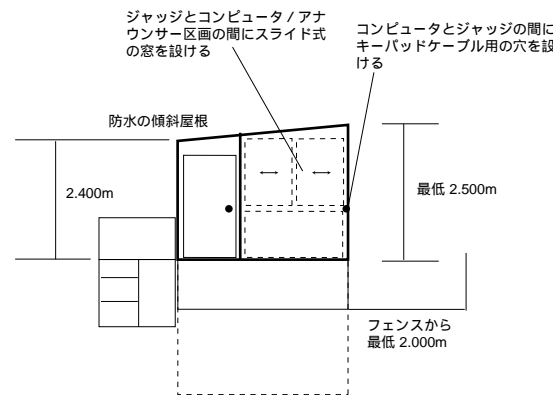
1. 常設が望ましい。
2. ワールドカップにおいてのスタンドの最小サイズは内のみで11m x 3mのこと。
3. スタンドの配置は、全てのジャッジとアナウンサーがコースの全体を見渡すことができるように考慮すること。
4. 入口はスタンドの後側中央に階段を上ったところに作り、競技会中の出入りを制限するようにドアを設けること。スタンドの正面側の端から出入りしてはいけない。
5. ジャッジスタンド内は十分に暖められ、完全に囲われていること。
6. コンピューター / アナウンサー区画は暖められ、向い風、雪、雨から隔離されること。
7. スタンドには傾斜した防水屋根を付けること。
8. ジャッジ区画は4ページの詳細図に従って作ること。
9. コンピューター / アナウンサー区画の前と後ろには、安定した110ボルトまたは220ボルトの電源が供給されること。
10. スタンドの床は乾いていて、滑り止めがあり、障害物や穴の無いこと。
11. スタンドはジャッジからアナウンサーやスコアラーが視認できること。
12. ジャッジスタンドの近くに簡易型トイレを準備すること。



上面図

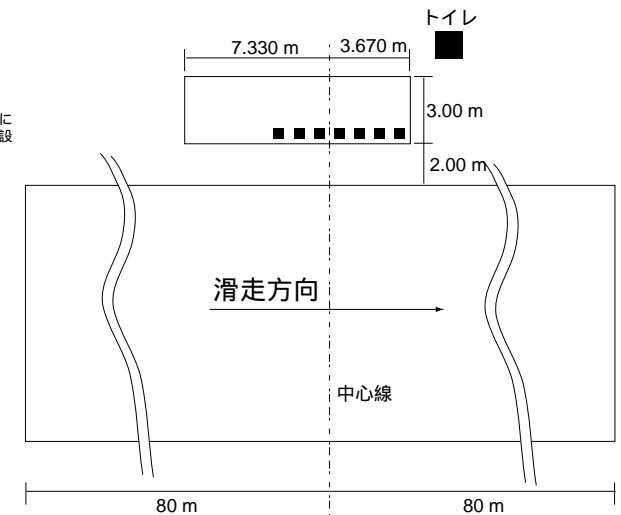


正面図



側面図

A-A矢視



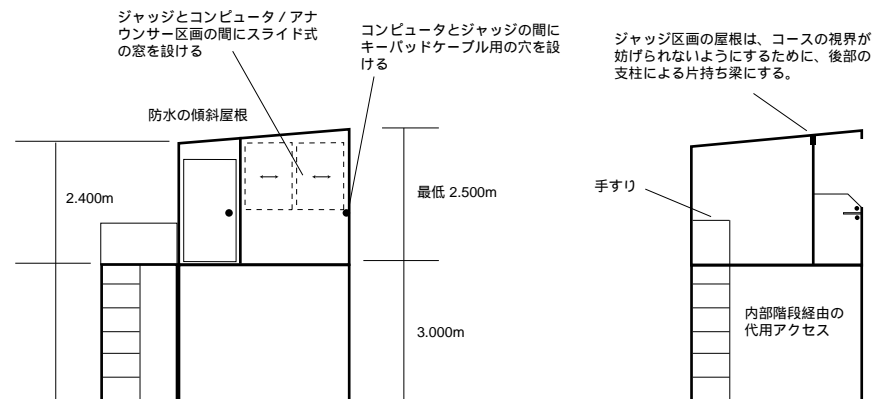
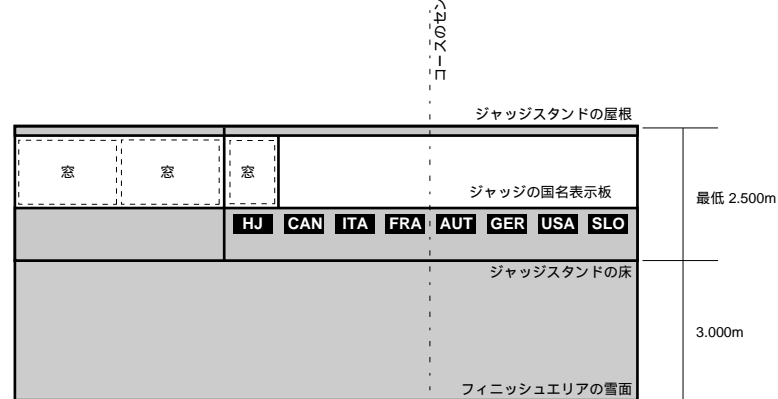
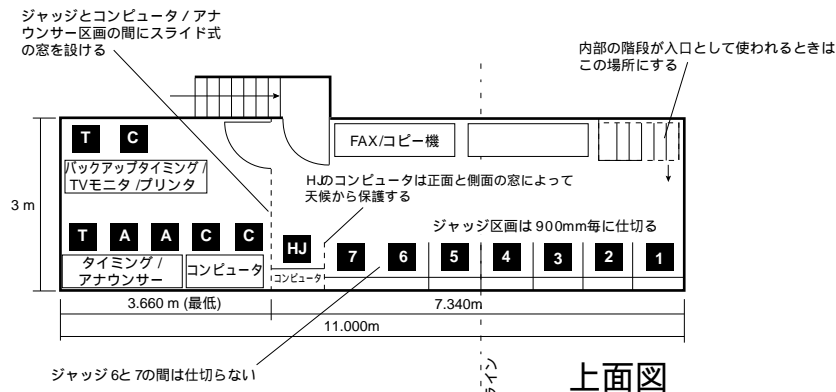
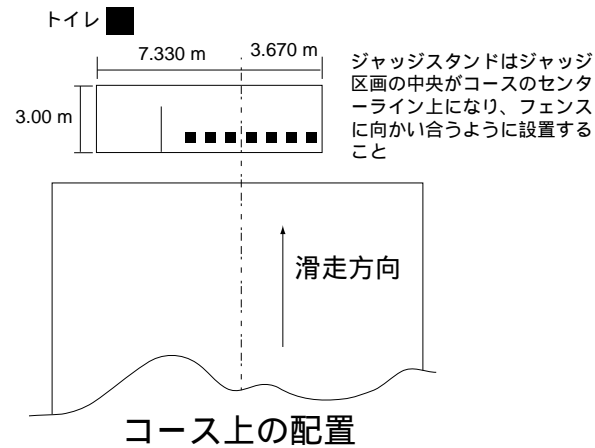
コース上の配置

FIS モーグルジャッジスタンドの仕様

Revision 5/7/99 • FIS Judges Sub-committee • FIS Rules & Technical Sub-committee

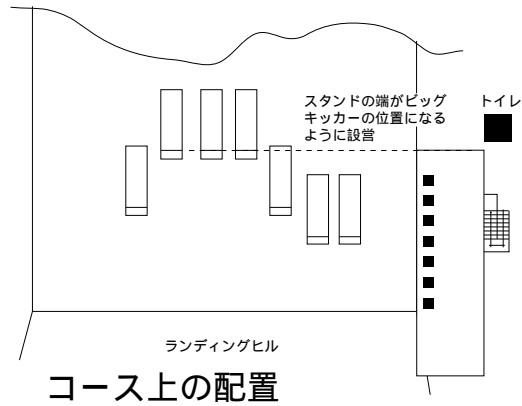
説明書：

- 十分に囲われた状態での常設が望ましい。
- ワールドカップにおいてのスタンドの最小サイズは内のみで11m x 3mのこと。世界選手権やオリンピックではより大きなスタンドを必要とすることがある。(例えば、TV、ビデオ、コンピュータ、音響)
- スタンドの配置は、全てのジャッジとアナウンサーがコースの全体を見渡すことができるように考慮すること。
- 入口はスタンドの後側中央に階段を上ったところに作り、競技会中の出入りを制限するようにドアを設けること。スタンド背後にある内部階段を入口の代わりとして使用することもできる。スタンドの正面側から出入りしてはいけない。
- ジャッジスタンド内は十分に暖められていること。
- コンピュータ / アナウンサー区画は乾いていて、暖められ、向い風、雪、雨から完全に囲われていること。
- スタンドには傾斜した防水屋根を付けること。ジャッジ区画の片持ち梁屋根は以下の詳細のようにする。
- ジャッジ区画は4ページの詳細図に従って作ること。
- コンピュータ / アナウンサー区画の前と後ろには、安定した110ボルトまたは220ボルトの電源が供給されること。
- スタンドの床は乾いていて、滑り止めがあり、障害物や穴の無いこと。
- スタンドはジャッジからアナウンサーやスコアラーが視認できること。
- ジャッジスタンドの近くに簡易型トイレを準備すること。
- 重要：FISユーザー用として予約された場所や空間をそれ以外のユーザー (TV、ビデオ、音響など) が要求し、譲り合うことができない場合は、スタンド上のスペースとしてそれらに必要なサイズを追加して用意すること。



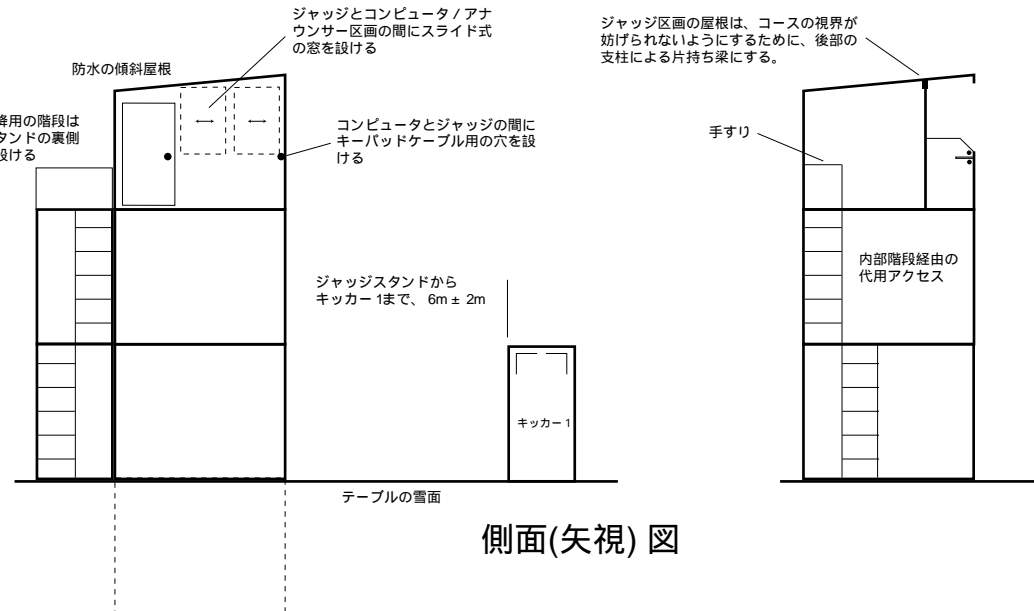
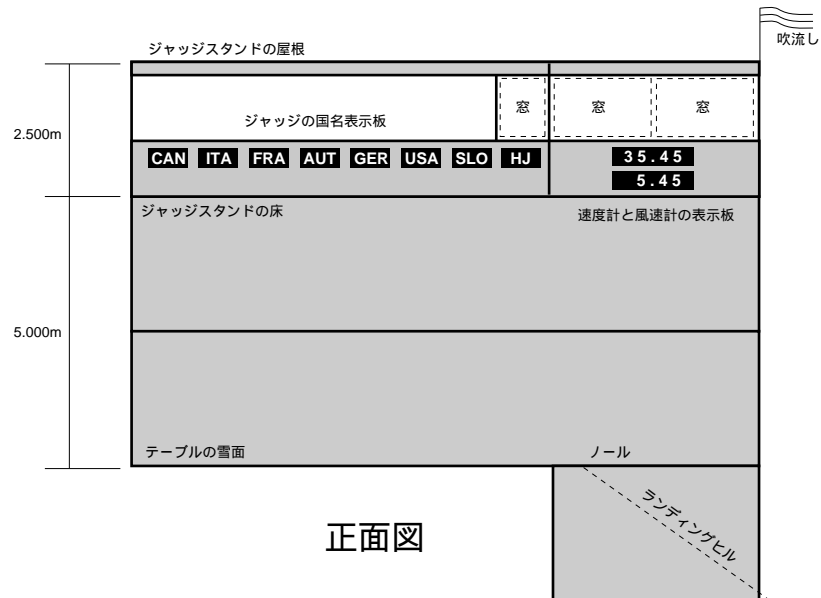
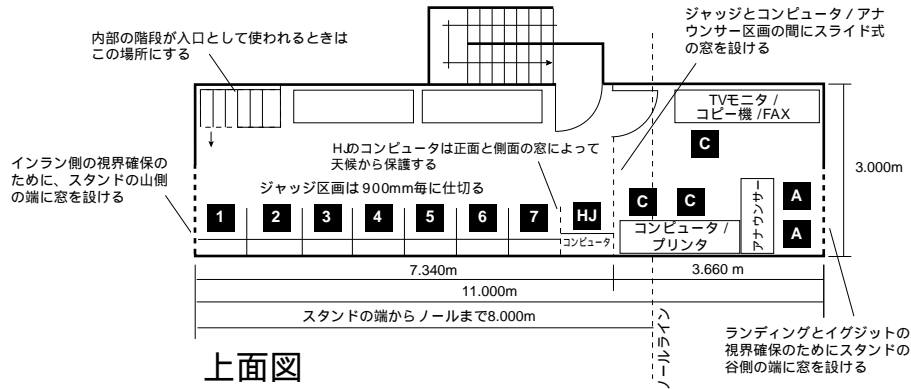
FIS エアリアルジャッジスタンドの仕様

Revision 5/7/99 • FIS Judges Sub-committee • FIS Rules & Technical Sub-committee



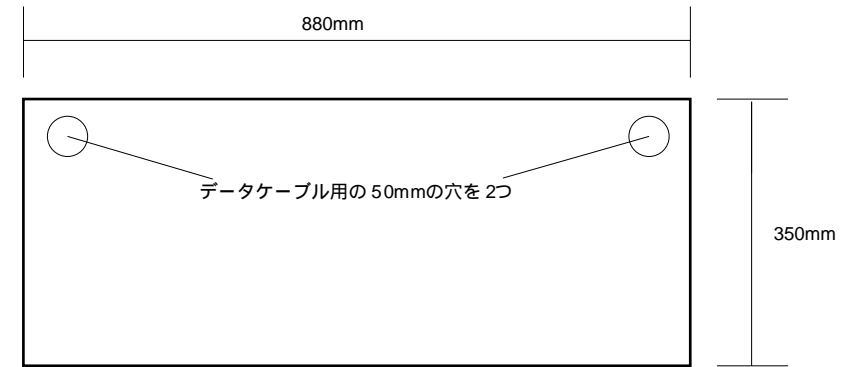
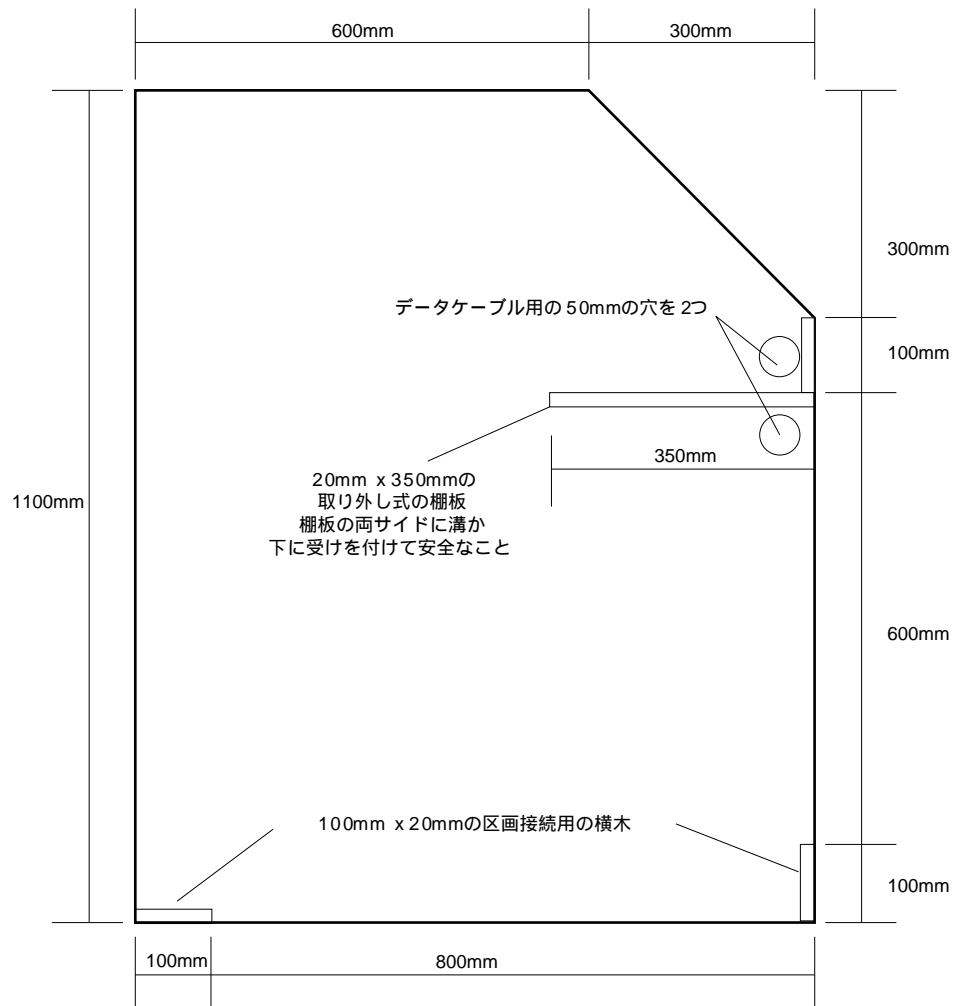
説明書:

- 十分に囲われた状態での常設が望ましい。
- ワールドカップにおいてのスタンドの最小サイズは内でのりで11m x 3mのこと。世界選手権やオリンピックではより大きなスタンドを必要とすることがある。(例えば、TV、ビデオ、コンピュータ、音響)
- スタンドは以下のことを考慮して配置すること。
 - ジャッジ1からジャッジ5まではテイクオフとランディングが見えること。
 - ジャッジ6とジャッジ7はランディングとイグジットが見えること。
 - アナウンサーはスタート、ランディング、イグジットが見えること。
- 入口はスタンドの後側中央に階段を上ったところに作り、競技会中の出入りを制限するようにドアを設けること。スタンド背後にある内部階段を入口の代わりとして使用することもできる。スタンドの正面側から出入りしてはいけない。
- ジャッジスタンド内は十分に暖められていること。
- コンピューター /アナウンサー区画は乾いていて、暖められ、向い風、雪、雨から完全に囲われていること。
- スタンドには傾斜した防水屋根を付けること。ジャッジ区画の片持ち梁屋根は以下の詳細のようにする。
- ジャッジ区画は4ページの詳細図に従って作ること。
- コンピューター /アナウンサー区画の前と後ろには、安定した110ボルトまたは220ボルトの電源が供給されること。
- スタンドの床は乾いていて、滑り止めがあり、障害物や穴の無いこと。
- スタンドはジャッジからアナウンサーやスコアラーが視認できること。
- ジャッジスタンドの近くに簡易型トイレを準備すること。
- 重要:FSユーザー用として予約された場所や空間をそれ以外のユーザー (TV、ビデオ、音響など) が要求し、譲り合うことができない場合は、スタンド上のスペースとしてそれらに必要なサイズを追加して用意すること。

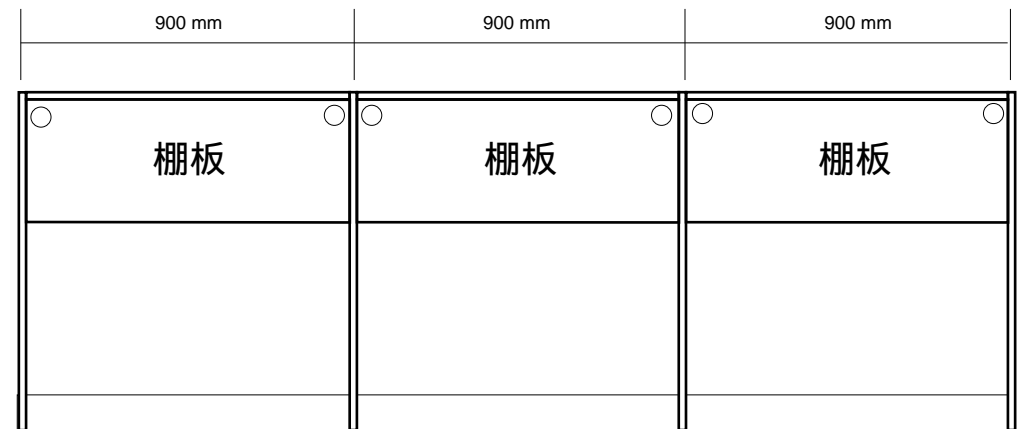


FIS ジャッジスタンド 仕切りの仕様

Revision 5/7/99 • FIS Freestyle Judges Sub-committee • FIS Rules & Technical Sub-committee



棚板の上面図



3 ジャッジ区画分の上面図